

区分	魅力あるサッカー場の機能・仕様など	スタジアムの多機能化	中央公園広場への導入機能・施設など	その他意見
スポーツ	<ul style="list-style-type: none"> ● デザイン性のあるコンセプト(カラー、ヴィジュアル) ● ビジネスマツチング、コミュニケーションの充実を目的としたラウンジ整備(試合日以外は、貸出等にて活用) ● 発達障害の方でも安心して観戦できるセンサールームの設置 <p>【サポーターからの意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 入場口からスタスタまでユニバーサルフリー(子供連れ・身障者・ご年配に優しい階段の少ない環境) ● 入場待機列の場所にも屋根があった方が優しいと思う ● コンコースは、1周出来るようにしてほしい ● ポップアップで活用できるように車輛がコンコースにアクセスできるスロープ ● 目的別に活用できる席状を検討してほしい ● 鉄板付きでお好み焼きを焼き、食べながら観戦できる席 	<ul style="list-style-type: none"> ● 親が子供を安心して預けられる託児所 ● 年配者、ハンデイクヤップを持っている観戦者を配慮したバリアフリー観戦スペース ● 試合のみならず、避難時にも活用できる適切なサイネージ設置 ● 女性用トイレは、拠点/回数、共に増設(着替えが出来るスペースも必要) <p>【サポーターからの意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 試合がない日でも楽しむことが出来る存在価値(ランニングロード、温浴施設など) 	<ul style="list-style-type: none"> ● フットサルコート(スタジアムの真横にあることで子供たちの夢を育て、健康増進やコミュニケーション不足の解消にも寄与できるものと考えられる。) ● 公園部を含めた拠点となるステーション(更衣室・シャワー)整備(ランニング等) ● 子供から大人まで楽しめる大型遊具整備 	<ul style="list-style-type: none"> ● スタジアム&公園が街中のシンボルとして活用されること、日常から夢を与え、目的にイテイング等を活用した視覚的装飾も必要であると考えられる。 ● 利用者に安らぎを与える、子供でも楽しんでいただける水場整備 ◇ スタジアムと公園を一体的に整備し、平和都市広島にふさわしく、誰もが集い、笑顔にあふれる空間としてほしい。 <p>【サポーターからの意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 河岸エリアも活用した空間づくり ● 寄附者の芳名版は、公園利用者も閲覧できるようにしてほしい
福祉	<ul style="list-style-type: none"> ● コンセプトは「楽しく役に立つ施設」として、何度でもたくさん利用したくなる施設とする。 ● 国際平和都市広島の都心に建設されるスタジアムとして、日本のみでなく世界に誇れる機能的で使いやすい特色のあるスタジアム建設を期待する ● 高齢化社会の世界最前線を歩みつつある日本が、規模ではなくその内容において世界のお手本になるような、高齢者や障害者等の社会的弱者にも「優しい施設」で、細部まで配慮が行き届いた広島市民・県民自慢のスタジアムにする。 ①トイレは広く・多く、②エレベーターは、車椅子も乗れるように広く・多く、③可能な限りのバリアフリー化、④トイレの中も含めて各所に手摺を設置、⑤移動しやすい動線、⑥授乳室・ベビーセンター、⑦喫煙所、⑧サッカールーム見学できない子供達等の招待席 ● 天候に左右されにくいスタジアムとするために、少なくとも観客席は屋根付きとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 多くの人が利用したくなるような広島スタジアム自慢のグルメ街 ● 試合や催し物がない時にも利用したくなるような特色のあるカフェや飲食スペース(大型バスを含め駐車場利用可能とする。) ● スポーツジム、各種教室、会議室、談話室、災害避難施設 ● サンフレッチェ広島を中心とした広島自慢のスポーツの歴史・成績紹介や展示スペース 	<ul style="list-style-type: none"> ● 試合や催し物がない時に施設利用者が利用できる駐車場 ● 家族で利用できる大型遊具、芝生広場 ● 基町環境護岸と一体的に利用できるよう改良する。広島市の河岸は、近年整備が進んで大変美しいものになっており、中央公園から広島スタジアム・広島城へと続くこの地域こそ、世界に誇れる親水河岸として、多くの人々が憩える魅力的なスペースにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 都心部との一体的利用を促進させるために、人の回遊に配慮し、動線部分の改良を図る。 ● 広島駅方面・紙屋町方面への地下通路を安全で楽しいものに改良する。(広く、明るく、清潔なエレベーターや通路やスロープ) ● スタジアム周辺の公共バス便及びバス停の見直し ● 旧広島市民球場跡地との連動性(動線)配慮 ◇ 国際試合などで海外から訪れた人が「広島スタジアムは素晴らしい、様々な面で参考となる」というものとしてほしい。 ◇ 福祉の面での設備を整えるための投資は惜しむべきではないと思う。

区分	魅力あるサッカー場の機能・仕様など	スタジアムの多機能化	中央公園広場への導入機能・施設など	その他意見
福祉	<ul style="list-style-type: none"> ○ バリアフリーの取組として、段差がないこと、スロープの両側に手すりを設置すること、車イスが入れるエレベーターの広さを確保すること、分かりやすい非常口の表示をすることなど ○ 視覚障害者の利用のため、各所に点字ブロックを設置すること。 ○ 車イス席は、前の人が立ち上がった後も座ったままピッチが見える高さとする。 ○ 多目的トイレを複数箇所に設置し、同伴の介護者が男女共用で入れられるようにすること ● 全体的にサンフレッチェ広島カラーとする ● サーピスカウンターの床面からの高さを700mm～800mmとする ◇ スタジアムのカラーの検討に当たっては、周辺との調和に配慮する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ● コンコーズの売店は、固定された売店のスペースにすることにより、高級感を持つのではないかと思います。 ● スタンド下には、カフェ、レストラン、スポーツジム、フットサル場、卓球場、その他運動のできる場所 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大小の遊具があれば、親子で遊びに来られる。 ○ 南北の水路について、鯉などの魚が泳いでいれば子どもが楽しめる。 ○ 広場にステージを造る場合には、騒音対策をしっかり検討していただきたい。 ● 周回ランニングコース（スタジアム～中央公園 広場外周コース、距離表示） ● 専用のスケボー施設 ● ベンチ等を置いて、憩いの場としての広場、木陰が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ● 水害対策として、スタンド、広場の下に雨水溜池を設置してはどうか。 ◇ 広島市は大型駐車場が少ないため、イベント時の対応ができるよう駐車場の整備してほしい。
女性団体	<ul style="list-style-type: none"> ○ スタジアムを造る際には、子育て目線、女性目線で考えていただきたい。 ● トイレには、必ず授乳室やおむつ替えコーナーを整備していただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 試合のない時でも、コンコーズを利用して、散歩やジョギングができるようにしてほしい。 ● スタンド下もファミリーが一日買い物や食事が楽しめるような空間があればよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 現状の子育て世代は、駐車場があり、遊具も無料で使える郊外に行っているもので、そうした点を考慮していただきたい。 ◇ 基町環境護岸について、子どもたちが水と親しんで遊べる環境を整備してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ● スタジアムに行く道をわかりやすく、高齢者や体の不自由な方、子ども連れファミリーにも優しい（ベビーカーが通れる）道路にしてほしい。 ● 景観計画の方針にもあったが、広島城や平和記念公園に今度はサッカースタジアムが加わり、都市機能が調和するよう、形、色、全体のバランスを考えてほしい。 ◇ ペデストリアンデッキを整備し、スタジアムまでの分かりやすい動線づくりをしてほしい。
若者代表	<ul style="list-style-type: none"> ● サッカーの試合を臨場感をもって楽しむために、サッカー場と観客席が近いことが望ましい。 ● より選手と観客の距離が近いスタジアムだと、選手の土気も上がり観客もより強く試合の熱気を体感することができる。 ● サッカー場に可動式の屋根をつける。雨天時もより良い状態でサッカーの試合を行い、観客も快適に試合を観戦することができる。 ● 段差が少なく、手すりなどが設置されているバリアフリーな施設にする。特に階段近くにはエレベーターの設置が必要であると考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ● レストランやカフェなどの飲食施設の充実。サッカーの試合が行われる時以外にも、市民が利用できるように解放された飲食施設にする。飲食施設内のテーブルと椅子で食べられるスペースがあると良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 公園内にカフェやレストランなどが揃っていれば、公園内ですべて完結し快適に過ごすことができる。 ○ 公園内で子ども向けのスポーツイベントの開催 ● 中央公園の利用頻度が高い親子連れのために大型の遊具を導入すべき。市中部に大型の遊具がある公園は少ないので、大型の遊具を設置すれば、子どもが何度でも遊びに来たくなる場所になる。 ● イベント開催が可能な場所の整備 ● 野外ライブ、野外シネマ（芝生などの上に大型のスクリーンを設置し、映画を上映するイベント） ● 全国で開催されている芸術祭を広島中心部で開催する際、スタジアム内や中央公園の空間を芸術作品の展示空間として活用する。 ● ベンチを多めに設置してほしい。高齢者や障害のある方など幅広い人が心地よく過ごすために、休憩できる場所を多めに設置すること必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ イベントの運営に広島県内の学生を動員すれば、より若者を集められるアイデアが出てくると思う。

○：第1回会議時の意見 ●：追加提出意見 ◇：第2回会議時の意見

新しいサッカースタジアム・公園 に関するアンケート集計結果

1.調査の実施方法

WEBアンケート調査

調査対象

広島県民・市民など

調査目的

スタジアムと中央公園広場を年間を通じて県民・市民など多くの人が訪れる、街中にふさわしい魅力ある空間にしていくために、県民・市民などのニーズ、行動や消費パターン等を把握する

調査方法

インターネットを活用し、広島市のホームページ上でアンケートを実施

アンケート回答数

9,517人

調査期間

2019年10月1日(火)～14日(月・祝)まで

2.回答者属性

(1) 性別等

回答者は30～50代の男性が中心であり、会社員・公務員が約67%を占めている。

性別 N = 9,517
(人)

選択肢	回答数	%
男性	6,404	67.3%
女性	3,113	32.7%

職業 N = 9,517
(人)

選択肢	回答数	%
会社員・公務員	6,342	66.6%
自営業	425	4.5%
専業主婦（夫）	490	5.1%
学生	1,023	10.7%
パート・アルバイト	802	8.4%
無職	288	3.0%
その他：	147	1.5%

年代 N = 9,517
(人)

選択肢	回答数	%
10代・20代	2,285	24.0%
30代	1,986	20.9%
40代	2,529	26.6%
50代	1,977	20.8%
60代以上	740	7.8%

(2) 居住地域

回答者の居住地域は広島県が70%以上を占めており、そのうち広島市内は約60%である。

広島市内では安佐南区の回答者の割合が一番高い。

居住地域（都道府県） N = 9,517
(人)



居住地域（広島県内）

選択肢	回答数	%	選択肢	回答数	%
広島市中区	578	8.2%	庄原市	85	1.2%
広島市東区	410	5.8%	大竹市	29	0.4%
広島市南区	515	7.3%	東広島市	413	5.8%
広島市西区	796	11.2%	廿日市市	283	4.0%
広島市安佐南区	1,007	14.2%	安芸高田市	32	0.5%
広島市安佐北区	366	5.2%	江田島市	82	1.2%
広島市安芸区	208	2.9%	安芸郡府中町	153	2.2%
広島市佐伯区	377	5.3%	安芸郡海田町	76	1.1%
呉市	367	5.2%	安芸郡熊野町	48	0.7%
竹原市	43	0.6%	安芸郡坂町	29	0.4%
三原市	162	2.3%	山県郡安芸太田町	16	0.2%
尾道市	149	2.1%	山県郡北広島町	24	0.3%
福山市	608	8.6%	豊田郡大崎上島町	31	0.4%
府中市	52	0.7%	世羅郡世羅町	28	0.4%
三次市	112	1.6%	神石郡神石高原町	12	0.2%

3.現状の観戦状況

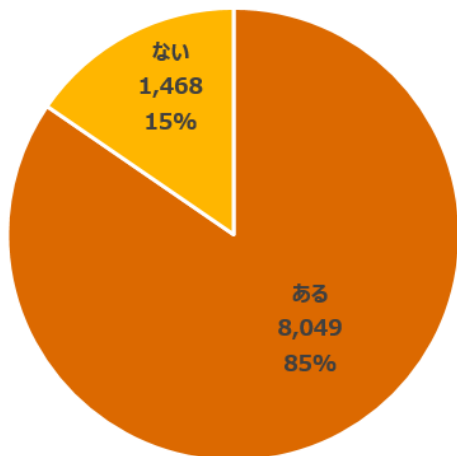
(1) 観戦実績等

回答者の85%が、現行のエディオンスタジアムで観戦経験がある。

回答者の76%が、新スタジアムができた際はこれまでと比較して観戦頻度が増えると回答している。

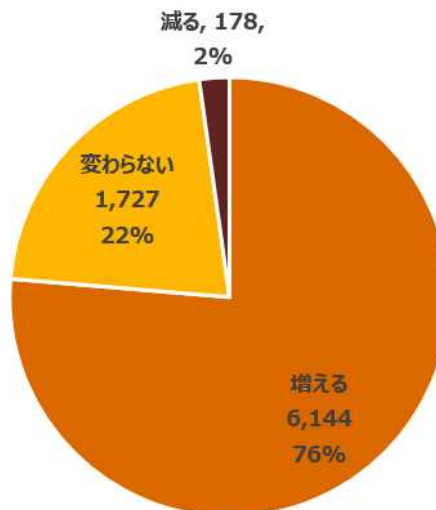
エディオンスタジアムでの観戦実績 N = 9,517

(人)



新スタジアムでの観戦頻度 N = 8,049

N = 8,049

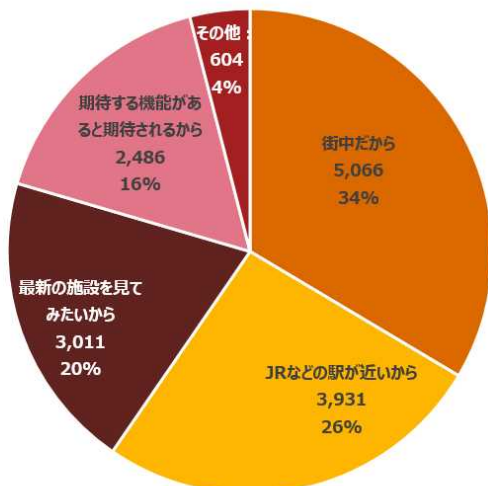


(2) 観戦頻度の増加理由等

観戦の増加理由で「街中」「駅が近い」が半数以上を占めており、現スタジアムで観戦実績がない人でも、60%以上が新スタジアムには行ってみたいと回答している。

観戦頻度の増加理由 (複数回答可) N = 6,144

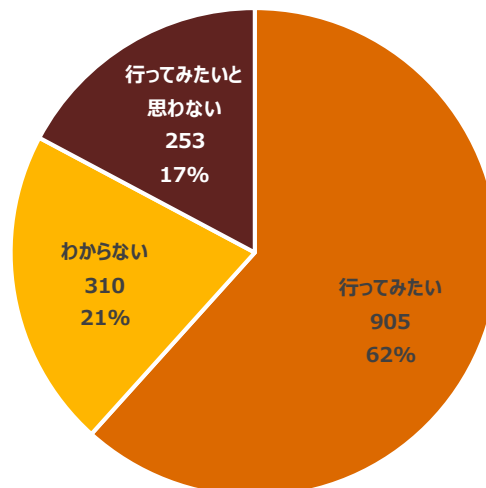
(人)



新スタジアムでの観戦意欲 N = 1,468

N = 1,468

(人)



4.新スタジアムについて

(1) 新スタジアムに望む機能

回答者の約9割が試合における臨場感を求めており、客席とピッチの近さを重要視している。運営面については、入退場のスムーズさ、売店の充実およびスムーズさにおける意見が多くみられた。また、試合における臨場感や入退場のスムーズさは年代・性別に関係せずニーズが高い一方で、ハード面における映像や演出、WiFi整備については若年層のニーズが高かった。

新スタジアムに望む機能 (複数回答可)

N = 9,517

選択肢	回答数	%
《ハード面》		
客席とグラウンドが近く臨場感がある	8,216	86.3%
どの客席からもピッチが見やすい	6,990	73.4%
トイレの数や広さが充実している	6,707	70.5%
客席がゆったりとしている (広い)	6,443	67.7%
WiFiが整備されている	4,262	44.8%
ユニバーサルデザインやバリアフリーなど、福祉環境が整っている	4,078	42.8%
映像が見やすい	4,034	42.4%
照明が明るく、また眩しくない	3,990	41.9%
コンコースが広い	3,791	39.8%
映像や照明を使った演出がおもしろい	3,655	38.4%
音響が聞こえやすい	3,094	32.5%
客席のバリエーションがある	3,059	32.1%
売店 (コンコース) からピッチが見える	2,873	30.2%
その他	681	7.2%
《運営面》		
入退場がスムーズ	8,052	84.6%
売店・屋台が充実している	6,769	71.1%
売店・屋台での購入がスムーズでストレスがない	5,498	57.8%
食事が美味しい	5,492	57.7%
観戦前後やハーフタイムに楽しいプログラムが用意されている	4,362	45.8%
アプリなどで観戦中に楽しめる	1,829	19.2%
その他	411	4.3%

(2) 新スタジアムに期待するイメージ

多世代で楽しめるスタジアムを求める声が多く、約70%を占めている。次いで、にぎわいが溢れている、広島ならではのともいえる平和の象徴が期待されている。また、年代に関係せず期待するイメージは概ね共通しており、多世代で楽しめることや、にぎわい等を期待している。若年層においてはデザインのかっこよさについての期待が高く、高齢者層は多様なスポーツが楽しめることへの期待が高かった。

新スタジアムに期待するイメージ (複数回答可)

N = 9,517

選択肢	回答数	%
多世代で楽しめる	6,494	68.2%
にぎわいが溢れている	5,762	60.5%
平和都市広島象徴となる	5,343	56.1%
デザインがかっこよい	5,069	53.3%
人にやさしい	4,975	52.3%
多様なスポーツが楽しめる	3,999	42.0%
最新の情報・技術に触れることができる	3,418	35.9%
緑があふれている	3,215	33.8%
国際色が豊かである	2,791	29.3%
歴史を感じる	1,459	15.3%
その他	488	5.1%

(3) サッカー以外で利用したいイベント

コンサート・音楽フェス、パブリックビューイングを期待する回答が多く、約70%を占めていた。
またこれらは、年代に関係せずニーズが高い一方で、高齢者層においては、サッカー以外のスポーツ大会を求める回答が多かった。

サッカー以外で利用したいイベント (複数回答可)

N = 9,517

選択肢	回答数	%
コンサート・音楽フェス	7,003	73.6%
パブリックビューイング	6,313	66.3%
サッカー以外のスポーツ大会	4,241	44.6%
ピッチを使ったイベント	3,545	37.2%
プログラム (スポーツ教室等)	2,578	27.1%
フリーマーケット・マルシェ	2,577	27.1%
特にない	456	4.8%
その他	399	4.2%

(4) スタンド下やコンコース部分で試合開催日以外に利用したい施設や機能

カフェ、レストラン、ショップ、スポーツミュージアム、子どもの遊び場、スパ・温浴施設が50%以上を占めていた。
またこれらは、年代に関係せずニーズが高い一方で、若年層については、VR施設やeスポーツの需要が高く、高齢者層は多目的ホールを求める回答が多かった。

スタンド下やコンコース部分で試合開催日以外に利用したい施設や機能 (複数回答可)

N = 9,517

選択肢	回答数	%	選択肢	回答数	%
カフェ	6,834	71.8%	託児所	2,501	26.3%
レストラン	5,974	62.8%	ボルダリング/クライミングウォール	2,421	25.4%
ショップ	5,597	58.8%	キッチンカー	2,314	24.3%
スポーツミュージアム (サッカーなど)	5,402	56.8%	eスポーツ	2,091	22.0%
子どもの遊び場 (遊具・アスレチック等)	5,223	54.9%	ランニングステーション	2,087	21.9%
スパ・温浴施設	4,820	50.6%	観光案内所	2,079	21.8%
ランニングコース	4,718	49.6%	サイクリング拠点	1,935	20.3%
コインロッカー	4,072	42.8%	3X3コート	1,765	18.5%
リラクゼーション施設 (マッサージなど)	3,332	35.0%	公共施設 (図書館など)	1,691	17.8%
フィットネスジム	3,191	33.5%	会議室	1,588	16.7%
手荷物預かり所	3,168	33.3%	クリニック	1,199	12.6%
VR施設	2,819	29.6%	荷物配送サービス	1,166	12.3%
多目的ホール・スタジオ	2,776	29.2%	その他	406	4.3%
			特にない	189	2.0%

5.中央公園広場について

(1) 中央公園広場で利用したい施設やイベント等

施設機能としてはカフェ・レストラン、子どもの遊び場のニーズが高く、イベントについてはパブリックビューイングとフードフェスタのニーズが高かった。

年代を関係せずカフェやレストラン、スポーツミュージアム、子どもの遊び場、パブリックビューイングのニーズが高い一方で、高齢者層は健康増進施設のニーズが高かった。

中央公園広場で利用したい施設やイベント等 (複数回答可)

N = 9,517

《施設》

選択肢	回答数	%	選択肢	回答数	%
カフェ	6,735	70.8%	じゃぶじゃぶ池	2,229	23.4%
レストラン	5,696	59.9%	ジップライン (ワイヤーロープを滑車で滑る遊具)	2,098	22.0%
子どもの遊び場 (遊具・アスレチック等)	5,161	54.2%	フィットネスジム	2,069	21.7%
スポーツミュージアム (サッカーなど)	4,311	45.3%	ボルダリング/クライミングウォール	1,914	20.1%
フットサル	4,078	42.8%	観光案内所	1,736	18.2%
ランニングコース	4,008	42.1%	ランニングステーション	1,697	17.8%
ショップ	3,779	39.7%	eスポーツ	1,680	17.7%
コインロッカー	3,674	38.6%	サイクリング拠点	1,667	17.5%
ウッドテラス	3,375	35.5%	デイキャンプサイト	1,610	16.9%
BBQ施設	3,189	33.5%	宿泊所	1,544	16.2%
健康遊具	2,869	30.1%	3X3コート	1,429	15.0%
キッチンカー	2,868	30.1%	グランドゴルフ	974	10.2%
手荷物預かり所	2,763	29.0%	特にない	234	2.5%
VR施設	2,238	23.5%	その他	192	2.0%

《イベント》

選択肢	回答数	%
パブリックビューイング	5,731	60.2%
フードフェスタ	4,697	49.4%
ビアガーデン	3,873	40.7%
フリーマーケット・マルシェ	3,136	33.0%
プログラム (スポーツ教室等)	2,067	21.7%
特にない	234	2.5%
その他	126	1.3%

(2) 中央公園広場を利用する際の交通手段

公共交通機関を利用する回答者が多い一方、自動車を利用すると答えた回答者は3割程度存在した。

広島市中心エリアの住者は公共交通機関や自転車の利用が多く、中心部以外の住者はJR等の公共交通の利用よりも自動車利用が多かった。

また、市外在住者はJRと自動車の利用者が多かった。

広場への交通手段 (複数回答可)

N = 9,517

(人)

選択肢	回答数	%
市内電車	4,397	46.2%
JR在来線	4,024	42.3%
自動車	3,265	34.3%
路線バス	3,105	32.6%
アストラムライン	2,438	25.6%
新幹線	2,278	23.9%
徒歩	2,132	22.4%
自転車	1,838	19.3%
高速バス	1,254	13.2%
バイク	518	5.4%
その他	119	1.3%

(3) 公共交通機関を利用しない理由

自動車を選択した人のうち公共交通機関を利用しない理由は、広島市内外在住者ともに家族・子ども連れでの移動に不便という回答が最も多かった。
市外在住者は自宅付近に公共交通がないことも理由として多かった。

公共交通機関を利用しない理由 (複数回答可)

N = 3,265

(人)

選択肢	回答数	%
家族・子ども連れでの移動に不便	1,386	42.5%
紙屋町・八丁堀周辺の駐車場から歩ける	1,040	31.9%
駅や車内が混む	836	25.6%
公共交通が自宅付近に無い	805	24.7%
時間が読めない	681	20.9%
運行本数が少ない	649	19.9%
荷物が多い	640	19.6%
費用が高い	632	19.4%
その他	338	10.4%
乗り方やアクセス方法が分からない	116	3.6%

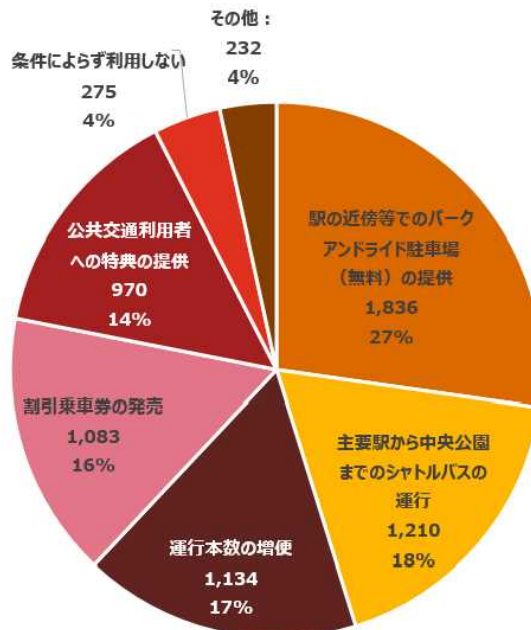
(4) 公共交通機関を利用する条件

パークアンドライドの無料提供との意見が最も多く、約1/4あった。
次いで、主要駅から中央公園までのシャトルバスの運行との意見が多かった。
パークアンドライドの無料提供の意見は、広島市内市外に関係なく最も多かった。

公共交通機関を利用する条件 (複数回答可)

N = 3,265

(人)



6.余暇・消費額等の動向

(1) 余暇の時間帯等

回答者の大半は休日が余暇の時間となっており、買い物をして余暇を過ごす人が最も多く70%以上を占めている。また、娯楽、食事、スポーツと回答した方も半数程度いることがわかる。

余暇の時間帯 (複数回答可)

N = 9,517

(人)

選択肢	回答数	%
平日午前	944	9.9%
平日午後	2,684	28.2%
休日午前	6,460	67.9%
休日午後	8,172	85.9%

余暇の使い方 (複数回答可)

N = 9,517

(人)

選択肢	回答数	%
食事	5,539	58.2%
買い物	6,929	72.8%
観光	3,134	32.9%
娯楽	5,723	60.1%
スポーツ	4,551	47.8%
その他	695	7.3%

(2) 行ったことがあるお出掛けスポット

市内中心部 (紙屋町・八丁堀など) が最も多く、約80%を占めている。次いで、厳島神社が多く、原爆ドームや宮島水族館も4割を超えている。

行ったことがあるお出掛けスポット (複数回答可)

N = 9,517

(人)

選択肢	回答数	%	選択肢	回答数	%
広島市内中心部 (紙屋町・八丁堀など)	7,641	80.3%	休暇村 大久野島	1,625	17.1%
広島平和記念資料館	3,674	38.6%	千光寺公園	3,297	34.6%
原爆ドーム	4,095	43.0%	福山城	1,724	18.1%
広島城	3,310	34.8%	鞆の浦	2,688	28.2%
安佐動物公園	3,579	37.6%	みろくの里	2,832	29.8%
湯来温泉	1,547	16.3%	君田温泉	1,005	10.6%
縮景園	2,128	22.4%	広島三次ワイナリー	3,422	36.0%
マリホ水族館	1,715	18.0%	備北丘陵公園	3,536	37.2%
厳島神社	6,309	66.3%	帝釈峡	2,115	22.2%
宮島水族館	4,097	43.0%	神楽門前湯治村	1,242	13.1%
弥山	2,350	24.7%	三段峡	2,506	26.3%
大和ミュージアム	3,184	33.5%	土師ダム	2,409	25.3%
西条酒蔵通り	1,790	18.8%	その他	481	5.1%
たけはら街並み保存地区	1,662	17.5%	遠出しない	655	6.9%

(3) お出掛けする際の消費額

飲食・お土産ともに1,000～3,000円程度の消費額が最も多く約50%を占めている。
消費総額では5,000～10,000円程度の消費額が最も多い。

飲食の消費額

N = 9,376

選択肢	回答数	%
0円	65	0.7%
1,000円以下	859	9.2%
1,000～3,000円程度	4,866	51.9%
3,000～5,000円程度	2,186	23.3%
5,000～10,000円程度	1,133	12.1%
10,000～15,000円程度	205	2.2%
15,000～20,000円程度	26	0.3%
20,000円以上	36	0.4%

お土産の消費額

N = 9,376

選択肢	回答数	%
0円	799	8.5%
1,000円以下	1,647	17.6%
1,000～3,000円程度	4,182	44.6%
3,000～5,000円程度	1,864	19.9%
5,000～10,000円程度	710	7.6%
10,000～15,000円程度	131	1.4%
15,000～20,000円程度	23	0.2%
20,000円以上	20	0.2%

消費総額

N = 9,376

選択肢	回答数	%
0円	50	0.5%
1,000円以下	194	2.1%
1,000～3,000円程度	1,289	13.7%
3,000～5,000円程度	2,507	26.7%
5,000～10,000円程度	3,229	34.4%
10,000～15,000円程度	1,356	14.5%
15,000～20,000円程度	441	4.7%
20,000円以上	310	3.3%

7.その他自由意見

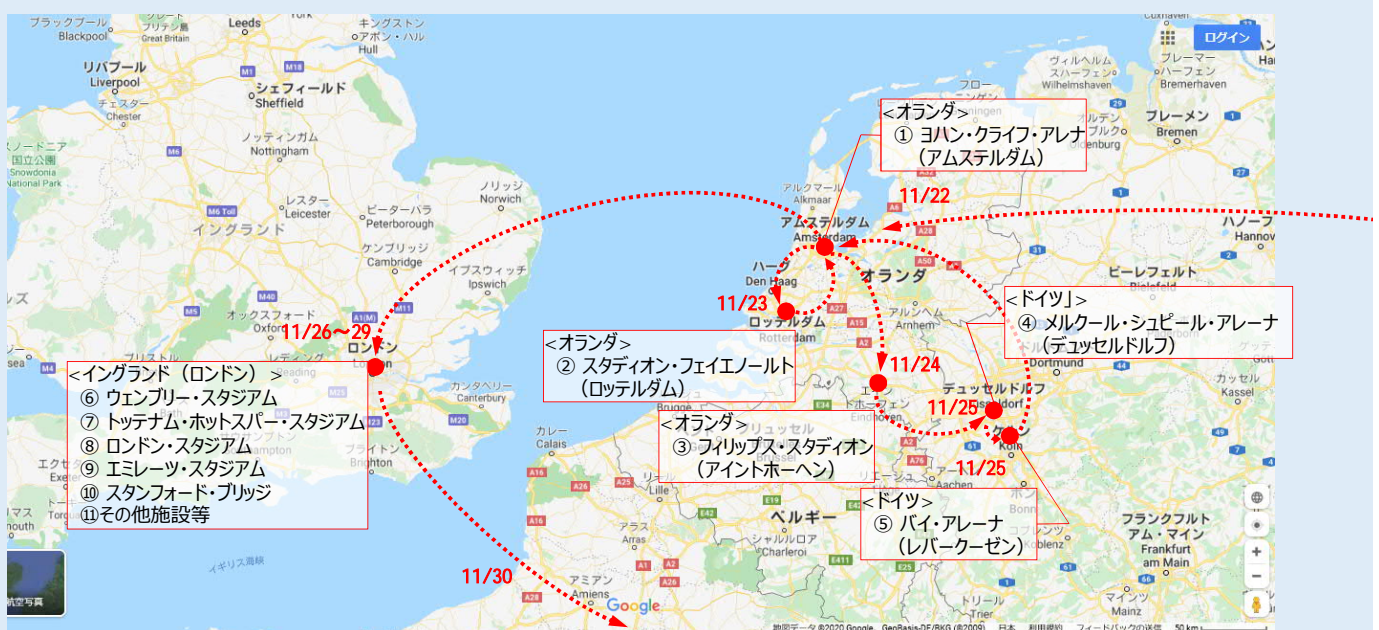
(1) その他自由意見（主なもの）

- サンフレッチェを新しいスタジアムで応援したい。
- 早く完成してほしい。早期開業を目指して整備してほしい。
- 平和都市広島らしいスタジアムにしてほしい。
- サッカー以外にもさまざまなイベントができるようにしてほしい。
- 国際試合ができるスタジアムにほしい。
- 素晴らしいスタジアムを期待している。
- サンフレッチェカラーの紫を取り入れてほしい。
- コンサートなどができるスタジアムにほしい。

欧州サッカースタジアム等視察について

令和元年11月22日（金）～11月30日（土）

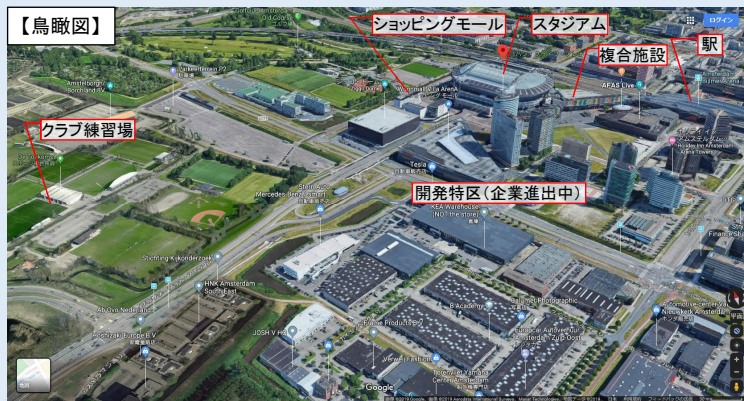
スケジュール・視察先





スタジアム名	ヨハン・クライフ・アレナ
所在地	アムステルダム(オランダの首都)
アクセス	アムステルダム駅から電車で15分、下車後徒歩3分
立地	街なか・ 郊外
ホームクラブ	AFCアヤックス
リーグ	エールディビジ(オランダ1部リーグ) 所属(視察時点で1位)
主なタイトル	リーグ優勝26回、UEFAチャンピオンズリーグ優勝4回 等
竣工・開場年	1996年開場
建設費	1億4,000万ユーロ(約170億円※)
収容人数	53,000人
屋根	開閉式屋根
芝	ハイブリッド芝(天然90%:人工10%)
多目的利用	コンサート、ほか各種イベント
多機能化	ファンショップ、レストラン
複合化	ショッピングモール、コンサートホール、映画館、ホテルなど
周辺対策	試合終了後70名の誘導員を配置。 コンサート開催時は屋根を閉じる。

※ 2019年11月30日時点でのレート換算による(参考)



出典: Google マップ



スタジアム外観
カラフルな各種複合施設がスタジアムに併設。



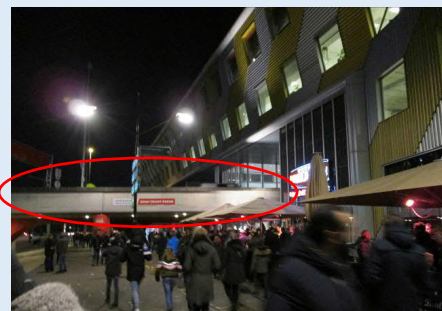
ピッチ全景
グローライトにて芝の養生を実施。



ピッチにてライトショー
音と光の競演によるライトショー。



VIPラウンジ
パーティーのようなラウンジ。
試合の前後及びハーフタイム中は非常に混雑していた。



車両進入路
スタジアム2階へ車両が直接アクセス可能。
歩車分離が明確で、安全な歩行空間を確保。



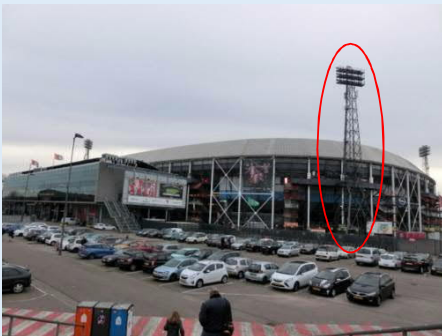
複合施設
ショップ、ホテル、オフィスなどが併設。



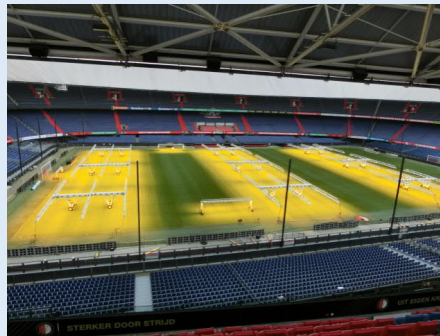
出典：Google マップ

スタジアム名	スタジアム・フェイエノールト
所在地	ロッテルダム(オランダ)
アクセス	ロッテルダム中央駅からトラムで30分、下車後徒歩2分
立地	街なか・ 郊外
ホームクラブ	フェイエノールト
リーグ	エールディビジ(オランダ1部リーグ) 所属(視察時点で7位)
主なタイトル	リーグ優勝10回、UEFAチャンピオンズリーグ優勝1回 等
竣工・開場年	1937年開場
建設費	5,400万ユーロ(約65億円※)
収容人数	51,177人
屋根	観客席上部のみ固定屋根
芝	天然芝
多目的利用	コンサート
多機能化	クラブミュージアム、レストラン
複合化	ファンショップ、屋内スポーツ施設
周辺対策	試合日の駐車場利用は関係者のみ。

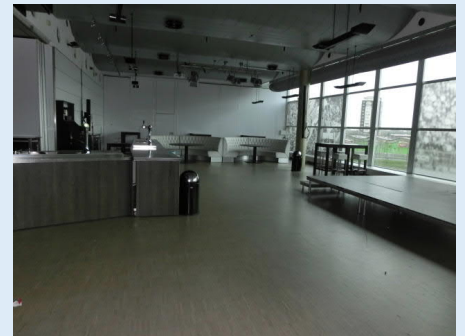
※ 2019年11月30日時点でのレート換算による(参考)



スタジアム外観
増築された照明塔。
最近のサッカースタジアムにはほとんど見られない。



ピッチ全景
グローライトにて芝の養生を実施。



VIPラウンジ
別棟のVIPラウンジ。



1階仮設席
1階は仮設の観客席が設けられており、車いす席も設置。



プレーヤーズトンネル
スタジアムツアーは平日でも賑わっていた。
プレーヤーズトンネルには過去にスタジアムで開催されたコンサートの記録なども描かれていた。



ミュージアム
スタジアムツアーに組み込まれており、トロフィーや盾に加え、選手の靴・ユニフォームなどチームの歴史を紹介。



出典：Googleマップ

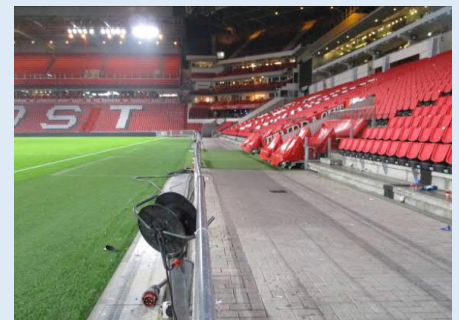
スタジアム名	フィリップス・スタジアム
所在地	アイントハーヘン(オランダ)
アクセス	アイントハーヘン駅から徒歩10分
立地	街なか・郊外
ホームクラブ	PSVアイントハーヘン
リーグ	エールディビジ(オランダ1部リーグ) 所属(視察時点で3位)
主なタイトル	リーグ優勝21回、UEFAチャンピオンズリーグ優勝1回 等
竣工・開場年	1913年開場、その後随時大改修
建設費	—
収容人数	36,500人
屋根	観客席上部のみ固定屋根
芝	天然芝
多目的利用	コンサート
多機能化	ファンショップ
複合化	レストランなど
周辺対策	試合日は住宅地の入口にて誘導員が誘導。 立入禁止措置はされていない。



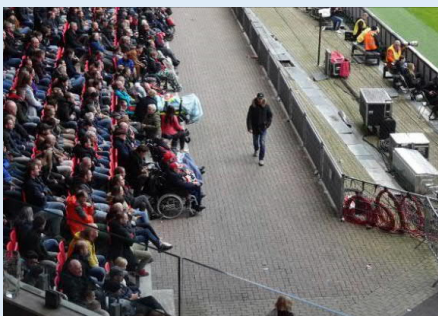
スタジアム外観
住宅街が近接。



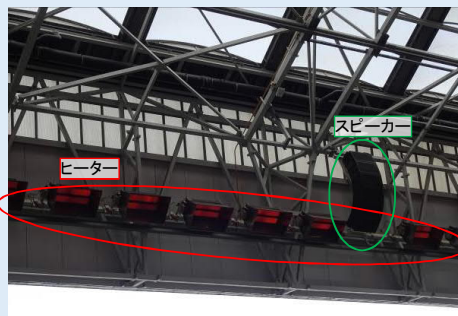
ファンショップ
スタジアムに併設するファンショップは、移動も困難なほどの大混雑。



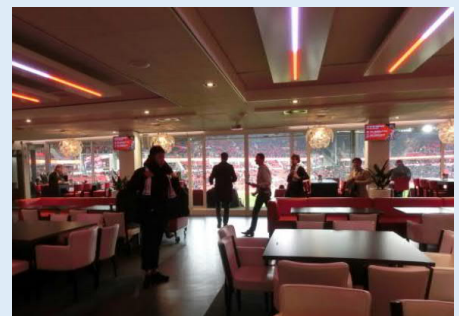
ゼロタッチ
観客席最前列はピッチと同レベル(ゼロタッチ)であり、臨場感を味わえる。



車いす席
車いす席がピッチレベルの最前列に設けられていた。



屋根裏のヒーターと指向性のあるスピーカー
冬季の観戦での寒さ対策として、屋根裏にはヒーターが設けられており、観戦環境の向上に寄与。周辺への騒音対策として、指向性のあるスピーカーを採用。



VIPラウンジ
ラウンジから直接観戦することも、ラウンジ外のVIPシートから観戦することも可能。ラウンジ外にもヒーターが設けられていて、快適な観戦環境を整備。

【位置図】



【鳥瞰図】



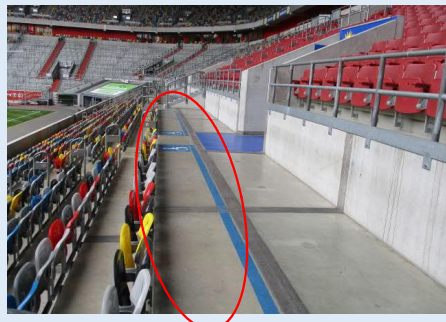
出典 : Google マップ

スタジアム名	メルクール・シュピール・アリーナ
所在地	デュッセルドルフ(ドイツ)
アクセス	デュッセルドルフ中央駅から地下鉄で20分、駅直結
立地	街なか・ 郊外
ホームクラブ	フォルトゥナ・デュッセルドルフ
リーグ	ブンデスリーガ(ドイツ1部リーグ)所属(視察時点で1位)
主なタイトル	ドイツカップ優勝2回 等
竣工・開場年	2004年開場
建設費	2億4,000万ユーロ(約310億円※)
収容人数	51,500人(全て着席) ~54,600人(立ち見あり)
屋根	開閉式屋根
芝	天然芝(芝の下にヒーター設置)
多目的利用	アイスホッケー、ボクシング、マラソン大会などのスポーツの他、コンサート、カーレースなど
多機能化	レストラン、事務所
複合化	ホテル、展示場など
周辺対策	試合時の混雑緩和のため、試合開始前後は鉄道を増便。

※ 建設当時のレート換算による



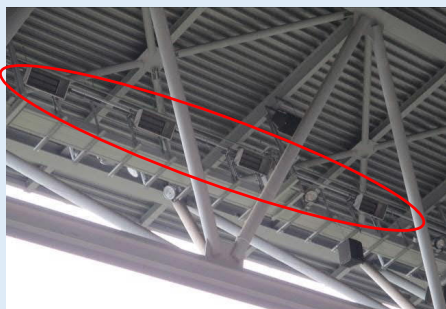
スタジアム外観
駅直結のスタジアム。



車いす席
車いす席は1階の中段あたりに設置。



開閉式の屋根
屋根を閉じて展示場として使用することもある。



屋根裏のヒーター
冬季の観戦での寒さ対策として、屋根裏にはヒーターが設けられており、観戦環境の向上に寄与。



多目的利用
ピッチの多目的利用では、コンサートだけでなくカーレースを実施するなど、多彩なイベントに活用。



複合施設
ホテルが併設されており、ホテルのレストランからもピッチにアクセスでき、観戦が可能。

【位置図】



【鳥瞰図】



出典：Google マップ

スタジアム名	バイ・アリーナ
所在地	レバークーゼン(ドイツ)
アクセス	デュッセルドルフ中央駅から鉄道で15分、下車後徒歩15分
立地	街なか・(圏外)
ホームクラブ	バイエル・レバークーゼン
リーグ	ブンデスリーガ(ドイツ1部リーグ)所属(視察時点で9位)
主なタイトル	ドイツカップ優勝1回、UEFAカップ優勝1回 等
竣工・開場年	1956年開場
建設費	7,000万ユーロ(約84億円※)(1986大改修時)
収容人数	30,210人
屋根	観客席上部のみ固定屋根
芝	天然芝
多目的利用	結婚式
多機能化	ホテル、レストラン、オフィス、貸会議室、クラブ事務所
複合化	—
周辺対策	自家発電を完備、地元住民の避難所としても使える。

※ 2019年11月30日時点でのレート換算による(参考)



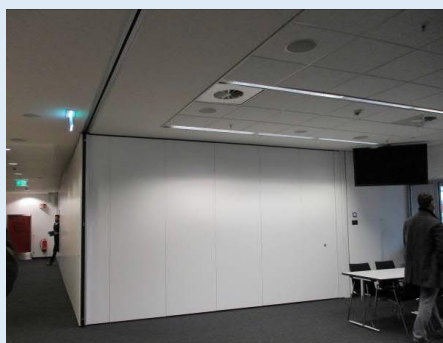
スタジアム外観
後付けの屋根が特徴的なデザイン。



ピッチ全景
屋根が半透明のためピッチはとても明るく、芝にも良い環境。



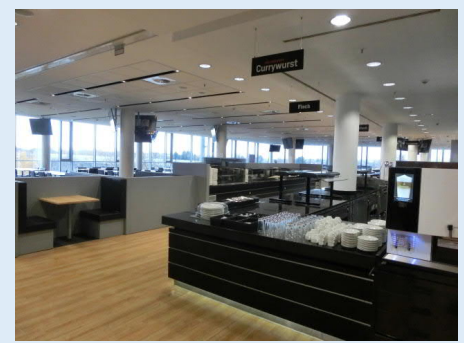
聴覚障害者席
聴覚障害者専用の席を確保。専用のヘッドフォンにより、観戦を楽しめるよう、配慮。



多機能化
貸し会議室が設けられており、移動間仕切りにより部屋の広さが変更でき、フレキシブルな運用が可能。稼働率の向上に寄与。



多機能化
ホテルが併設されており、ホテルの会議室からピッチを眺めることも可能。



VIPラウンジ(1000人収容可)
非試合日にも会議室として貸し出しており、300人規模の会議等の会場として利用可能。